



省エネ法

京都議定書目標達成に向けて改正省エネ法が平成18年4月に施行され、すべての荷主企業に省エネ対策を講じることが求められました。自らの事業活動に伴い、年間の貨物輸送量が3,000万トンキロ以上の事業者は、特定荷主の指定をうけます。また、平成21年4月の改正により工場・事業場ごとに企業単位での届け出が必要となりました。

特定荷主には、特別な義務がかかります。

- 1 計画の策定**
年1回、物流部門の省エネ対策、設備投資等とその期待効果についての計画の提出が義務付けられています。
- 2 定期の報告**
年1回、以下のような点についての報告が義務付けられています。
 - 輸送量(トンキロ)
 - エネルギー消費原単位
 - エネルギー消費量算定範囲、算定方法、算定結果
 - 省エネ取組状況
 - エネルギー起源CO₂排出量 等

※詳細は資源エネルギー庁のホームページをご覧ください。
<http://www.enecho.meti.go.jp/ninushi/>

社団法人 全国通運連盟

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-21 淡路町MHビル 5F
TEL.03-5296-1670 FAX.03-5296-1673

ホームページもご覧ください
<http://www.t-renmei.or.jp/>



お申込み、お問い合わせ先

トラックから鉄道へ、スムーズ移行。モーダルシフトの決定版



31 ファイトウィングコンテナ
スーパーグリーン
シャトル列車
東京 ↔ 大阪間を
ノンストップ **8時間**
月～金 毎日運行



レールがつなぐ地球の未来、やさしく便利な鉄道コンテナ輸送



社団法人 全国通運連盟

このカタログ制作には古紙配合率 100%再生紙と環境に優しい大豆油インキを採用しました。



鉄道コンテナ輸送の新機軸。スピーディな物流システム。

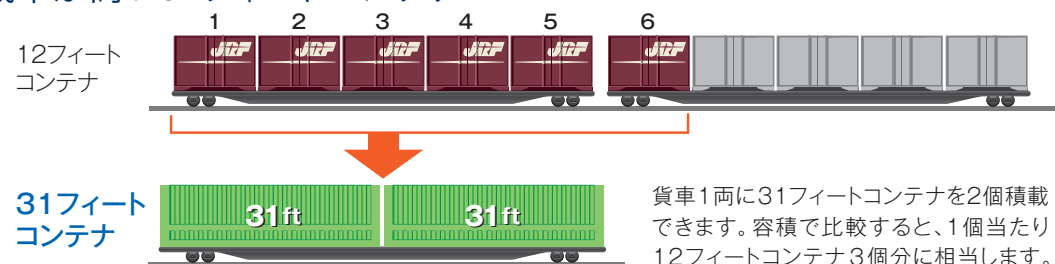
31フィート・ウィングコンテナ

大型トラックで輸送していた貨物をそのまま鉄道へモーダルシフト。31フィート・ウィングコンテナが活躍します。内容積が10トントラックとほぼ同等で、入出荷システムや輸送ロットを変更する必要がありません。環境負荷軽減、コスト削減にも貢献します。

頼れる31フィート・ウィングコンテナ、5つのメリット。

- 1 出荷・入荷のロットを変える必要はありません。荷揃えは、従来のままで大丈夫です。
- 2 1100×1100のパレットが大型トラックと同様に16枚積載できます。
- 3 ウィング仕様なので、両側面からフォークリフト荷役ができます。
- 4 コンテナ番号による輸送管理が可能です。
- 5 環境負荷の小さい鉄道を利用することで、CO₂排出量が大幅に削減できます。

積載率が高い31フィートコンテナ



容積
大型トラック(10トン車~)とほぼ同じサイズのバンボディ

仕様
コンテナボディの両側面がトラックと同じウィング仕様

31フィート・ウィングコンテナの仕様

完全フルウィングシステム

- 上下ウィングパネルを一体化したことによりスピーディな荷役作業ができます。
- 地上でも、車上でも効率的なフォーク作業が行えます。
- 後部扉からの荷役作業が可能で、ホーム荷役作業にも対応します。

大型ウィングトラックに匹敵する貨物積載量を実現

- T11パレット16枚を収納するスペースを確保しました。
- 様々な荷役の対応ができます。
- 総重量に応じてトラックでもトレーラーでも輸送可能です。

貨物にやさしい標準装備

- 貨物固定のためラッシングレール、埋込式フックを装備しています。
- 貨物保護、結露防止のために内張りベニヤを装備しています。
- 積載車両に対応できる緊締装置を装備しています。

人にやさしい親切装備

- 安全を確認しながらワンマンでウィングを開閉できるフルリモコン装備です。
- ウィング羽部の2重ロック機構です。
- 車両電源をそのままコンテナの開閉に使用可能です。



	31フィート・ウィングコンテナ		大型トラック ウィングバンボディ
	レギュラータイプ	背高タイプ	
積載重量	約13.2トン	約10.0トン	約11~14トン
積載容量	47.2m ³	51.3m ³	50.5m ³
長さ(内寸)	9,245mm	9,245mm	9,600mm
幅(内寸)	2,310mm	2,350mm	2,340mm
高さ(内寸)	2,210mm	2,360mm	2,250mm

■ 大型トラックの代表的仕様例との比較

信頼のスペシャル仕様、全国で稼働中。

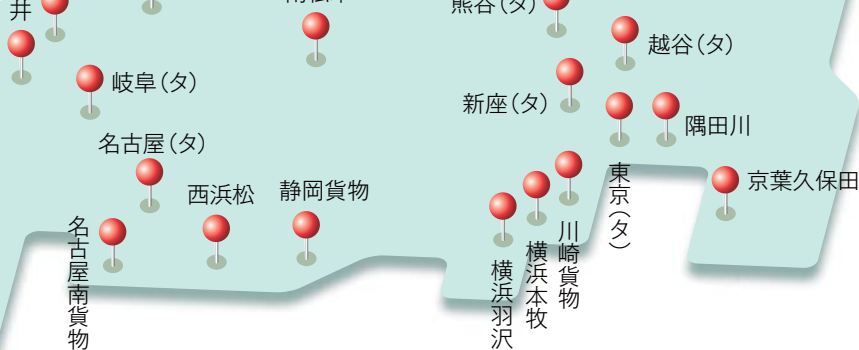
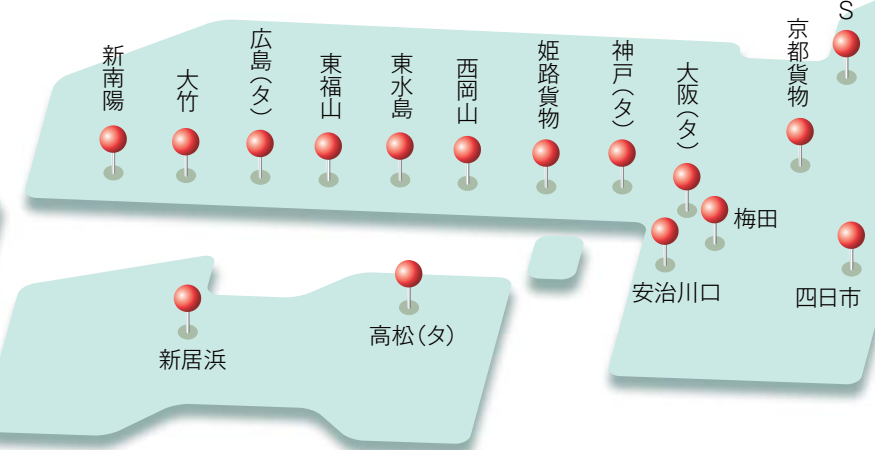
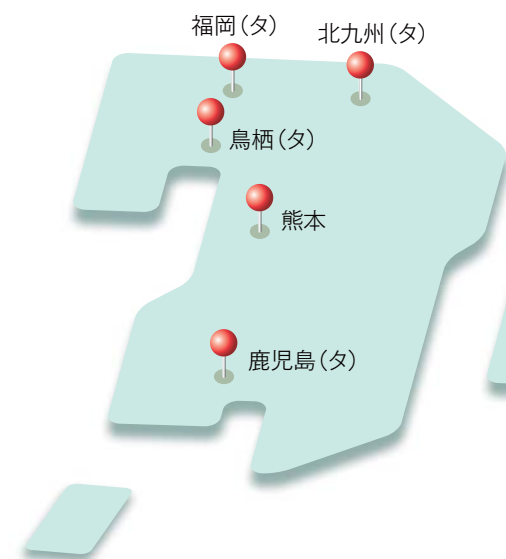
31フィートコンテナ



トップリフター

トラックから鉄道、鉄道からトラックへの積み替えは大型コンテナ荷役機がすみやかにいきます。

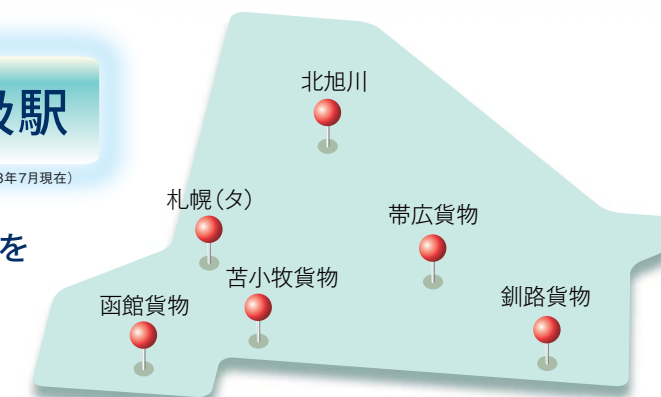
(女):貨物ターミナル



31フィートコンテナ取扱駅

(平成23年7月現在)

現在、全国59駅で31フィートコンテナを取り扱うことができます。
今後も、大型コンテナ荷役機械の導入を進め、取扱駅の拡充を図っていきます。



トラック輸送と比べ、CO₂排出原単位は約1/6。
鉄道コンテナ輸送を活用すれば、CO₂排出量は大幅に削減できます。

試算条件

貨物輸送トン数 10トン
CO₂排出原単位 トラック 133(g-CO₂)
鉄道 22(g-CO₂)

輸送距離
トラック輸送の走行距離 900km
鉄道輸送
鉄道輸送距離 900km
トラック集荷距離 20km
トラック配達距離 20km

CO₂排出量試算

トラック輸送 10トン×900km×133=1.20(t-CO₂) ①
鉄道輸送 鉄道部分
10トン×900km×22=0.20(t-CO₂)
集荷・配達部分
10トン×20km×2×133=0.05(t-CO₂)
合計 0.25(t-CO₂) ②

CO₂排出量削減効果

約79%の削減 [①-②=0.95(t-CO₂)]

モーダルシフトの効果 (年間200日/トラック1台分を鉄道にシフトした場合)

190(t-CO₂)の削減 [0.95(t-CO₂)×200日で計算]
※経済産業省・国土交通省「物流分野のCO₂排出量に関する算定方法ガイドライン」の従来トンキロ法により算出。

続々と増加中。モーダルシフトに積極的に取り組む企業。

地球温暖化の主因とされる二酸化炭素(CO₂)の排出量削減を目指して、中・長距離輸送をトラックから鉄道等に換える「モーダルシフト」が推進されています。環境負荷の軽減だけでなく、コスト削減にもつながることから、多くの企業がモーダルシフトに積極的に取り組んでいます。

大型トラックのバンボディをそのまま貨車に。
トラックと鉄道の複合輸送システムです。

31フィート鉄道コンテナ輸送

「大量輸送」「定時性」も鉄道コンテナ輸送の大きな特長です。



グリーン物流加速!

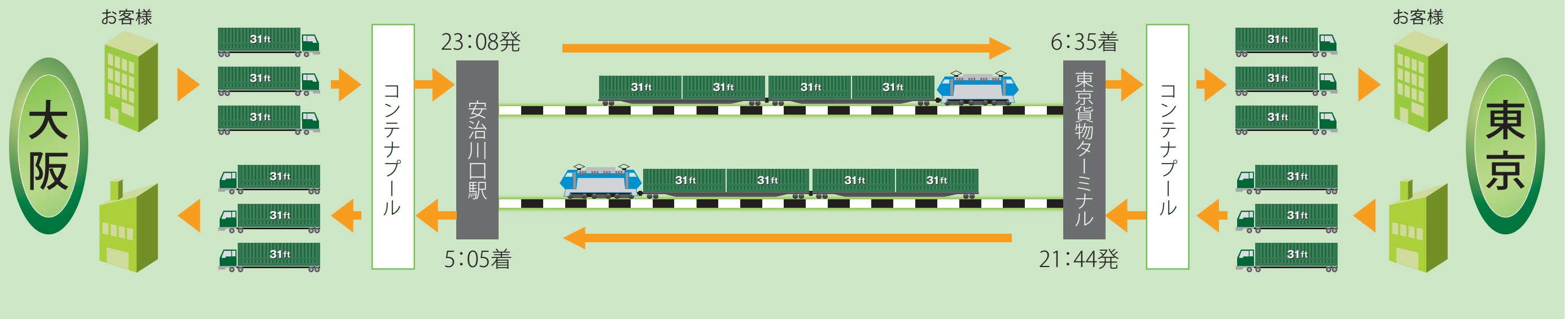
31 フィートウィングコンテナ スーパーグリーン・シャトル列車

みんなで地球にやさしい物流を
グリーン物流パートナーシップ
推進モデル事業

国土交通大臣表彰受賞



東京⇄大阪間を
ノンストップ8時間。
月～金 毎日運行。



31フィート・ウィングコンテナ共同運用システム

- 不特定多数のお客様、トラック事業者の皆様が、ご利用回数の多少にかかわらずご利用いただけるオープン参加システムです。
- 鉄道利用運送事業者がシャトル列車と31フィート・ウィングコンテナを共同運用します。
- 鉄道利用運送事業者を通じて簡単にご利用いただけます。

